

平成30年度予算見積調書

課室名：道路街路課

担当名：街路担当

内線：5056

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B11	街路整備費			一般会計	土木費	都市計画費	街路事業費	街路整備費		
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	都市計画法第59条第2項		宣言項目	04	地域をつなぐ社会基盤の整備			
					分野施策	041039	埼玉の活力を高める道路ネットワークの整備			
1 事業概要				5 事業説明						
安全で円滑な道路交通の実現を図るため、現道拡幅やバイパス整備を行い、道路ネットワークの構築を図る。				(1) 事業内容 高速道路を軸とした幹線道路網を整備するため、基幹となる都市計画道路や地域の生活を支える身近な都市計画道路等について、県単独事業としてバイパス整備や現道拡幅等を実施する。						
(1) 街路整備費（改築） 1,552,052千円				○主要施策 ①魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 572,000千円						
(2) 街路整備費（維持） 271,385千円				県内の企業立地ポテンシャルを高めるため、開通目標年度を公表し、インターチェンジへのアクセス機能強化のための道路整備を推進する。						
(3) 街路整備費（指定経費） 332,273千円				②駅みちネットワークづくりの推進 134,760千円 主要な駅周辺の歩行者の安心・安全や歩きやすさの向上、交通事故減少などを図るため、歩道整備や自転車空間の整備などを推進する。						
				③SAITAMAおもてなしロードの整備 419,550千円 2019年ラグビーW杯や2020年東京オリンピックを好機ととらえ、観光客の印象に残る「おもてなし」の道路空間づくりを行うことで観光客を増加させ、地域の活性化を支援する。						
2 事業主体及び負担区分 (県4/5・市1/5)				(2) 事業計画 都市計画道路川越北環状線（川越市）外 20箇所 うち、主要施策に関する箇所 ①魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 都市計画道路川越北環状線（川越市） ②駅みちネットワークづくりの推進 都市計画道路駅東口通り線（桶川市） ③SAITAMAおもてなしロードの整備 都市計画道路中央通線（秩父市）						
3 地方財政措置の状況 地方道路等整備事業債 充当率90%（通常分0% 財対分0%） 交付税措置 なし				(3) 事業効果 広域的な幹線道路ネットワークを整備することにより、地域の交流や経済活動を支え、均衡ある県土の発展に寄与する。 ○主要施策の効果 ①魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備 インターチェンジへのアクセス性が向上し、企業立地ポテンシャルが高まり、新たな企業立地を促進する。 ②駅みちネットワークづくりの推進 歩行者と自転車・自動車を分離する歩道整備により、安全な駅周辺道路環境となる。 ③SAITAMAおもてなしロードの整備 観光客と地域住民との交流人口の増大により、地域の活性化が促進される。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 209,950千円(22.1人) (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		分担金・負担金	諸収入	県債						
決定額	2,155,710	427,116	400	1,707,000				21,194	△399,930	
前年額	2,555,640	491,685	73,500	1,964,000				26,455		